

小さな町の素敵な音楽祭～2001～

第27回木曾音楽祭

8/23・24・25・26



中山道ルネッサンス
木曾街道400年祭り

前夜祭コンサート 8月23日(木) 7時 福島中学校体育館

名曲コンサート
木管五重奏による日本歌曲メドレー／ショパン●舟歌
サン＝サーンス●序奏とロンド・カプリチオーソ 他

フェスティバルコンサートⅠ 8月24日(金) 7時 木曾文化公園文化ホール

ラヴェル●クーブランの墓／ヴェルディ●弦楽四重奏 ホ短調
エルガー●ピアノ五重奏曲 イ短調 Op.84／ドヴォルザーク●弦楽五重奏曲 第2番ト長調 Op.77

フェスティバルコンサートⅡ 8月25日(土) 7時 木曾文化公園文化ホール

フランセ●八重奏曲／シェーンベルク●ピアノ五重奏曲(室内交響曲 A.ウェーベルン編曲)
プーランク●ピアノ、オーボエ、ファゴットのための三重奏曲
ブラームス●クラリネット五重奏曲 ロ短調 Op.115

フェスティバルコンサートⅢ 8月26日(日) 3時 木曾文化公園文化ホール

グノー●小交響曲 変ロ長調／モーツァルト●ピアノ協奏曲 第13番 ハ長調 K.415(室内楽版)
ルーセル●デイヴェルティメント Op.6／メンデルスゾーン●弦楽八重奏曲 変ホ長調 Op.20

*曲目・出演者が変更になる場合がございます あらかじめご了承ください。未就学児の入場はお断り致します。

Violin	漆原啓子 加藤知子 川田知子 久保陽子 小林美恵 服部譲二
Viola	市坪俊彦 菅沼準二 廣狩 亮
Violoncello	堀 了介 山崎伸子 山本裕康
Contrabass	星 秀樹
Flute	佐久間由美子
Oboe	小畑善昭 古部賢一
Clarinet	三界秀実 山本正治
Fagott	前田信吉 吉田 将
Horn	山本 眞 吉永雅人
Piano	寺嶋陸也 野島 稔 若林 顕 (50音順)
Director	山本正治

入場料

前夜祭コンサート(自由席)	大人 ¥1,000	小・中学生 無料
フェスティバルコンサート(自由席)	大人 ¥3,500	小・中学生 ¥2,000
フェスティバルコンサート通し券	指定 ¥12,000	自由 ¥10,000

*通し券は木曾音楽祭事務局のみの発売です

■お問合せ・電話予約 = 木曾音楽祭事務局 0264 (21) 1222

東京アーティストズ 03 (3440) 7571

スタジオ・ルンデ 052 (203) 4188

■プレイガイド = チケットぴあ東京 03 (5237) 9990・名古屋 052 (320) 9999

木曾文化公園 0264 (23) 8011 / 木曾郡内各書店

■宿泊・観光のお申込み・お問合せ = おんたけ交通(株) 0264 (22) 2568

ホームページ <http://www.town.kisofukushima.nagano.jp/music.htm>

music@town.kisofukushima.nagano.jp

主催 = 木曾音楽祭実行委員会・木曾福島町・木曾文化公園

共催 = 信濃毎日新聞社・財団法人信毎文化事業財団

協賛 = 日本製紙株式会社 企画制作 = 東京アーティストズ

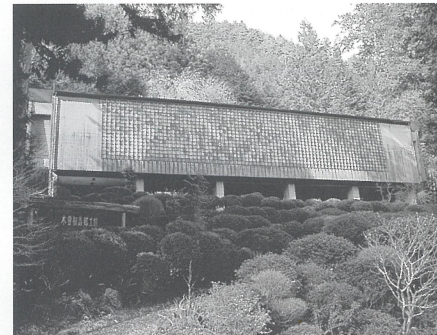
木曾—思い出と文化

善本知孝

ヒノキを彫って作った木曾谷の模型が木曾福島郷土館にある。明治14年の作とあり、まことに木曾が山であるのを強く思わせる。山また山の雨水が谷を下り、集まって木曾川となる。その縁を木曾路がくねる。事情は今も似て、特急「しなの」は時に単線となりながら、谷を擦り抜けていく。山また山を覆う濃緑の衣は森の深さを示すが、暮らしたの気配は谷間の各所にあり、木曾路がかつて国を貫く幹であった歴史を忘却の淵には沈めない。

三五年も昔、わからぬ衝動かられて道沿いのヒノキ林に入り、巨木の下生えの笹に苦勞してひと山越えた。一〇〇年生ほどの人工林だったが、そんな木が一斉に育つこの地の特異さに心を強く打たれた覚えがある。弥生の始め、稲作が縄文文化をゆさぶり、照葉樹林は各地で農地となったが、この地では原生の針葉樹林が残った。歴史時代になり、代々の権力者はヒノキの価値を高く評価し、それが住む人の暮らしを支えた。きびしい暮らしにゆとりがでて育った文化に、都から都へ旅する人の残り香が味を付けた。黒が基調といえるほどの、森の暗さが映った、洗練された文化がここにはある。

音楽祭の次の日、高瀬家を訪ねた。森閑として人は見えず、代金をおいて中に入る。藤村ゆかりの品を見、昔泊



木曾福島郷土館
木曾の歴史を物語る貴重な歴史資料が豊富にあり、木曾谷を概観することのできる資料館

まった馬籠の宿や妻籠の景観を思い出しながら出口に向かうと、淡い黒の衣裳を着こなした初老の女性が座っていた。藤村所縁のこの家で出会う日本の女性には、嫌が上にも想いが膨らむ。数分の会話に気品を感じ、強い日差し

の廊下に並んだ十年一日の土産を手にした。

西洋音楽は都市には根づいたらしい。誰が気付いたか、それを自然の中に解放するとのアイデアは見事である。自然で一日寛いだ人の耳には、都市では気付かぬ音が聞こえてくる。自然で数日鍛えた奏者には、日頃と違った感性が己の中から現れる。舞台姿は都市とは風情が変わり、聴者の心情をしなやかにする。会場への短い往復も、音楽が喚起した夢をこわさず、眠りに運ぶのを許す。

木曾の自然は山であり、森である。樹冠に広がる展望が見事でも、木曾には高原は似合わない。一日を山で森の静けさに浸り、夜は下って川辺に音を求める。こんな試みから伝統の地に新しい文化が生まれぬか、と夢を見る。

来年のパンフレットはあなたの作品で!

「木曾への想い」と「木曾—思い出と文化」は今年の応募作品から掲載させていただきます。来年の音楽祭のために、皆様からの写真とエッセイを募集しております。側面から音楽祭に参加していただきたいと考えております。募集要項は下記のとおりです。

写真：木曾近辺の風景等。カラー／モノクロ何れも可。
郵送にて、カメラキ2枚（キャビネ以上の大きさ）をお送り下さい。

エッセイ：木曾に関連した随筆。1,000字程度
郵送・ファクシミリ・e-mail 等でお送り下さい。

締め切り：2002年1月末日必着
作品の送付・応募に関するお問合せ
397-0001 木曾郡木曾福島町5787-3
木曾福島町教育委員会 内 木曾音楽祭事務局
TEL.0264-21-1222 FAX.0264-22-2276
e-mail = music@town.kisofukushima.nagano.jp

過去いずれかの印刷物に掲載されたものは不可。作品を掲載させていただいた方には記念品を差し上げます。尚、いずれの応募作品も返却いたしませんのでご了承下さい。

●木曾音楽祭へは臨時バスをご利用ください。(大人400円 小人200円)

	木曾福島駅	木曾文化公園着	木曾文化公園発	木曾福島駅
8月24日(金) 19:00	18:00	18:30	21:00	21:30
8月25日(土) 19:00	18:00	18:30	21:00	21:30
8月26日(日) 15:00	14:00	14:30	17:00	17:30

*木曾福島駅行きバスの発車時刻は、終演時間によって前後致します。

8月23日(木) 7時 前夜祭コンサート

名曲コンサート [司会:服部讓二]
木管五重奏による日本歌曲メドレー
ショパン●舟歌 [若林]
サン＝サーンス●序奏とロンド・カプリチオーソ [久保] 他

8月24日(金) 7時 フェスティバルコンサートⅠ

ラヴェル●クープランの墓 [佐久間 古部 山本正 吉田 吉永]
ヴェルディ●弦楽四重奏 ホ短調 [久保 服部 菅沼 堀]
エルガー●ピアノ五重奏曲 イ短調 Op.84 [若林 川田 小林 市坪 山本裕]
ドヴォルザーク●弦楽五重奏曲 第2番ト長調 Op.77
[加藤 漆原 廣狩 山崎 星]

8月25日(土) 7時 フェスティバルコンサートⅡ

フランセ●八重奏曲 [三界 吉田 山本真 漆原 久保 市坪 堀 星]
シェーンベルク●ピアノ五重奏曲(室内交響曲 A.ウェーベルン編曲)
[寺嶋 佐久間 三界 小林 山本裕]
プーランク●ピアノ、オーボエ、ファゴットのための三重奏曲 [小畑 前田 若林]
ブラームス●クラリネット五重奏曲 短調 Op.115
[山本正 服部 川田 廣狩 山崎]

8月26日(日) 3時 フェスティバルコンサートⅢ

グノー●小交響曲 変ロ長調
[佐久間 古部 小畑 山本正 三界 前田 吉田 吉永 山本真]
モーツァルト●ピアノ協奏曲 第13番ハ長調 K.415(室内楽版)
[野島 加藤 服部 市坪 山崎]
ルーセル●ディヴェルティメント Op.6 [寺嶋 佐久間 古部 山本正 吉田 吉永]
メンデルスゾーン●弦楽八重奏曲 変ホ長調 Op.20
[久保 川田 漆原 小林 菅沼 廣狩 堀 山本裕]

交通のご案内

電車 (JR特急) での利用の場合

■新宿から木曾福島
中央本線 湯尻 しのの、中央本線…約3時間20分
新幹線→名古屋 しのの、中央本線…約3時間40分
■名古屋から木曾福島
中央本線 ……1時間18分

車ご利用の場合

■新宿から木曾福島
中央自動車道 塩尻IC R19…約4時間
■名古屋から木曾福島
中央自動車道 中津川IC R19…約2時間30分

バスと電車ご利用の場合

■新宿から木曾福島 (往復7,850円!! 約4時間)
京王高速バス松本線 新宿—松本 (往復5,950円)
JR線 松本—木曾福島 (各駅停車) (往復1,900円)
京王高速バス Tel.03(5376)2222

水と緑と史跡の町

木曾福島



福島関所跡・関所資料館
中山道の要衝として「入り鉄砲と出女」を
厳しく取り締まった場所

中山道の要衝として栄えた木曾福島は、木曾路の中心的役割を果たしている。それだけに歴史をとどめた見どころも多いが、崖屋造りの家並みを散策するだけでも江戸の昔に想いをはせることができる。

木曾への想い

Y・T

二〇〇〇年六月のこと、アルテ友の会（武蔵野文化事業団）コンサート会場前で木曾音楽祭のピラマキをしていると、「私は伊那市出身です・・・」。「松本出身です・・・」。「一流の人たちがでているのですね」「主人が行きたいと言っています・・・」。木曾音に惚れ込んでしまってますね、と私。「そういうもんですよ。帰郷の時期を考えますから」との声々。きまつて聞かれるのは、泊まるところをどうするか、ということであった。

BS放送で知り、今までに四回参加しているが、初めての時は宿泊案内のチラシで、一番上に書いてある民宿にした。ホテル、旅館での連泊では予算オーバーとなるからだ。コンサートで心が弾んでいるのに、寝るところは網戸がホコリで目詰まりしていた。翌朝タオルで部屋中拭いた。二日間は身を縮めて眠った。もとより浴室、トイレには手が及ばない。最終日やつと心地よい宿がとれ、以来定宿となっている。二〇〇〇年のチラシには宿泊セットが加わった。これなら東京から行って大丈夫（行く人も安心、私も安心）。駐車場で整理している人、演奏家の食事担当の方々は聴けるのかしら、自分への「オアズケ」はつらいだろうなと思っていた。打ち上げパーティでの裏方の晴れやかな笑顔、楽しさに私も

夏の木曾路をめぐる—見どころいっぱいのおショナルツアー—

木曾御岳とロープウェイコース	中山道宿場歴史とロマンのコース
期日 8月25日(土)	期日 8月25日(土)
最少催行人員 25名	最少催行人員 25名
代金 9,000円(昼食付)	代金 9,000円(昼食付)

音楽祭を支える中に入れてもらいたいという思いがピラマキにあらわれたのだと思う。
木曾谷観光には事欠かないが、定宿の方々、昼食定番のお蕎麦屋さん、ひと釜だけのとうもろこしを採ってきたて蒸かす開田村の農家の心意気など、人とのふれあいが音楽祭の素晴らしさとの相乗作用となっている。この頃は道草を喰わずに直行しているのは、故郷に帰る心境なのかもしれない。でもちよつぱり気が引けていることがある。ここは私と夫のリフレッシュ基地（わがわがわしからの解放地帯）。娘や息子、友だちには声をかけずにそっとしておきたいところなのだ。

お得な宿泊パック

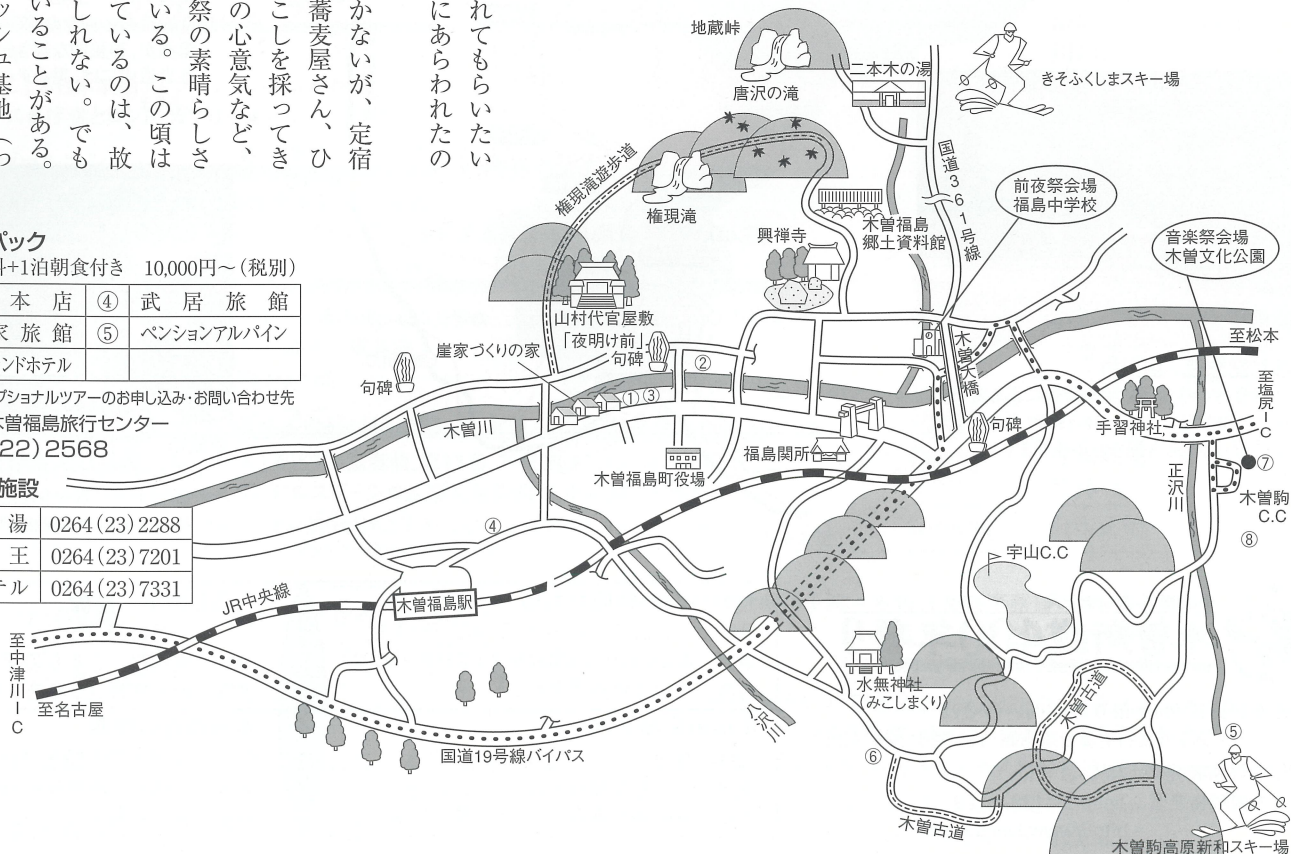
入場料+1泊朝食付き 10,000円～(税別)

① 岩屋本店	④ 武居旅館
② 三河家旅館	⑤ ペンションアルパイン
③ つたやランドホテル	

宿泊パック・観光オプションツアーのお申し込み・お問い合わせ先
おんたけ交通木曾福島旅行センター
Tel. 0264(22)2568

その他の宿泊施設

⑥ 駒の湯	0264(23)2288
⑦ 駒王	0264(23)7201
⑧ 森のホテル	0264(23)7331



木曾路

木曾は四方を山に囲まれた山岳の地。古く中山道は、江戸・日本橋から京都・三条大橋を結ぶ重要な街道として人々に利用され、今でもその歴史を色濃く残している。木曾路の険路には11の宿場が設けられ、妻籠や馬籠、奈良井などの宿場町を始め、贅川(にえかわ)関所、福島関所などが置かれた。寝覚の床、霊峰御嶽など、景勝の地や、歴史と文化を物語る史跡を見ることができる。そして若者が集うスキー場はもちろん、テニスコート、ゴルフ場、多くの温泉なども点在しており、夏にはさわやかな高原で都会では味わえない満天の星空や自然とのふれあいが楽しめます。



開田高原／開田村
山々に埋もれる木曾谷は珍しく、広大な高原です。忘れな草・木曾馬・そばの産地です。



奈良井宿／榎川村
江戸時代の宿場町で、今も古い家並みが残っています。奈良井独特のしとみ戸、千本格子、出梁り創りが、遠い昔を偲ばせます。



義仲館／日義村
木曾義仲公に関する古文書・絵巻・上洛地図ほか、巴御前などの武者人形も展示されています。



木曾御嶽山
標高3,067m。悠然とそびえ立つ霊峰御嶽。古くから信仰の対象として、また登山客にも人気があります。山麓の高原は、素晴らしい自然体験でいっぱい。



寝覚の床／上松町
奇岩奇石の間をぬってエメラルドグリーンの深淵が、神秘的な輝きをはなっています。遊歩道内には、時をテーマとした美術公園もあります。



藤村記念館／山口村
島崎藤村の生家、馬籠本陣跡にある資料館。復元された冠木門をくぐると回廊式の記念堂・隠居所・蔵の図書館などが並びます。



妻籠宿／南木曾町
中山道木曾11宿のひとつ。重要伝統的建造物群保存地区に選定されたほど、集落保存がよく、往時を想わせる街並みです。



中山道ルネッサンス 木曾街道400年祭り

期間 平成13年1月～平成14年3月まで 場所 木曾郡全郷・塩尻市・中津川市

- 木曾街道400年祭りのお問い合わせは
木曾街道交流実行委員会事務局 Tel.0264(23)1050
- 木曾路観光のお問い合わせは
木曾観光連盟 Tel.0264(23)1122
<http://www.kisoji.com/>

われら森の仲間たち展

日時 7月20日(金)～8月19日(日)予定
場所 木曾福島町 中部森林管理局森林第一センター
内容 森の生物展示イベントなど

中山道宿場会議

日時 9月8日(土)・9日(日)
場所 山口村馬籠宿周辺
内容 島崎藤村青春グラフィティ舞台公演など

メインイベント情報

うるしの里 新能

日時 7月28日(土)
場所 榎川村 うるしの里広場
内容 能・狂言(シテ方 観世栄夫)

木曾路食の祭典

日時 10月6日(土)・7日(日)
場所 日義村 木曾駒高原周辺
内容 食の祭典イベントなど